

令和2年度 第3回 稚内市庁舎建設検討委員会

議事録 要旨

時期 : 令和2年10月6日(火) 13:30~

場所 : 稚内総合文化センター 小ホール

出席者: 別紙出席者名簿参照

1. 要旨

○基本計画(案)について

- ・建設敷地の方向性が見えてきたので、中央地区の将来像も含めて動きに期待したい。
- ・「20年後を見通したまちづくり」が本当に大事な点だと感じている。
- ・IT化についてしっかりと整理し、打ち出すことが必要。
- ・まちづくりの拠点としての整備をしっかりと行ってもらいたい。
- ・民間の力を借りることも検討してもらいたい。
- ・新庁舎とキタカラがまちづくりの拠点となれば、その間の商店街のポテンシャルも上がり、将来的な動きも期待できる。
- ・大雨による土砂災害および冠水について想定と対策をする必要がある。
⇒(事務局回答)基本計画案でも示しているとおおり、国の基準を満たす強度を確保する。
また、今後地質調査を行う中で土留め等が必要となれば対応していく。
- ・建設コストの抑制をしっかりと検討していただきたい。
- ・議場の多目的利用や休憩室の流動的な利用、文化センターを有効に活用することなどにより新庁舎の面積を削減し、建設コスト抑制を図ってはどうか。
- ・ワンストップサービスは出来るだけ考えるように努力していただきたい。
- ・議会は使用の頻度が低いのであれば、文化センターを利用するなど検討できないか。
- ・議場について、市民の多目的利用のためにお金をかけるのはいいと思う。
- ・稚内市の地場産木材利用を検討してほしい。
- ・災害発生時の庁舎へのアクセスについて検討していただきたい。
- ・IT化によって建物の面積を減らし、建設コストを抑えることが出来ないか。
- ・土砂災害に対しては地震による倒壊だけではなく、土砂によって庁舎が埋まることなど様々な災害対応を想定したほうがよい。